

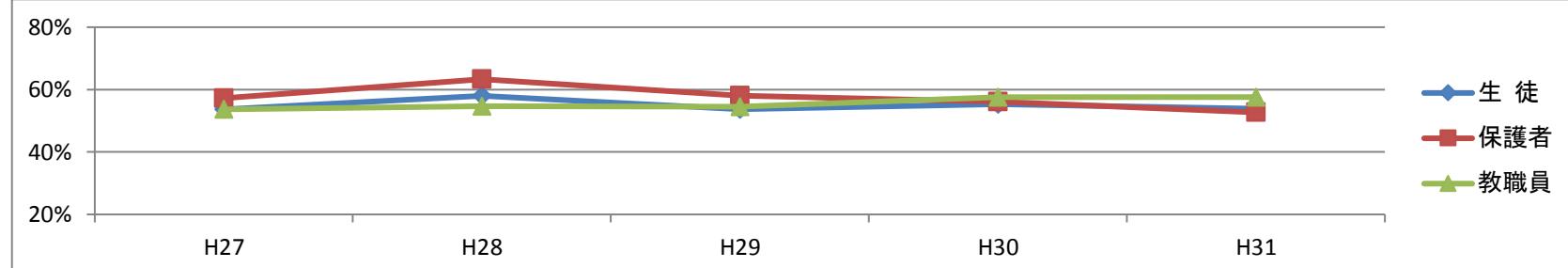
## 1. 平成31年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員							
	年度	H27	H28	H29	H30	H31	年度	H27	H28	H29	H30	H31	年度	H27	H28	H29	H30	H31
回答数		443	536	421	425	402		132	182	126	99	284		35	42	44	69	49
総 数		581	592	568	539	531		581	592	568	539	531		72	74	67	74	61
回答率(%)		76.2%	90.5%	74.1%	78.8%	75.7%		22.7%	30.7%	22.2%	18.4%	53.5%		48.6%	56.8%	65.7%	93.2%	80.3%

項目1

1 生徒 学校に行くのが楽しい  
1 保護者 子どもは学校に行くのを楽しんでいる  
1 教職員 生徒は学校生活に満足している

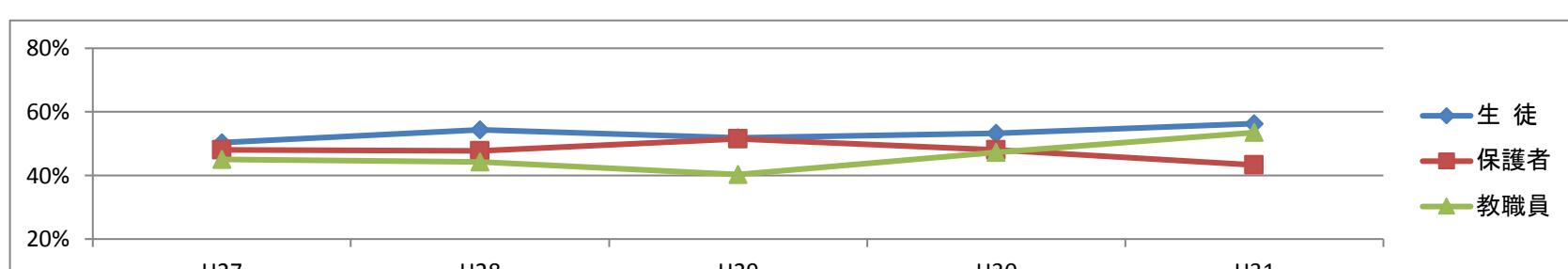
年度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	53.7%	58.0%	53.7%	55.4%	53.8%
保護者	57.3%	63.3%	58.0%	56.2%	52.7%
教職員	53.7%	54.7%	54.5%	57.5%	57.6%



項目2

2 生徒 学校の勉強はよくわかる  
2 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている  
2 教職員 生徒は授業内容を理解している

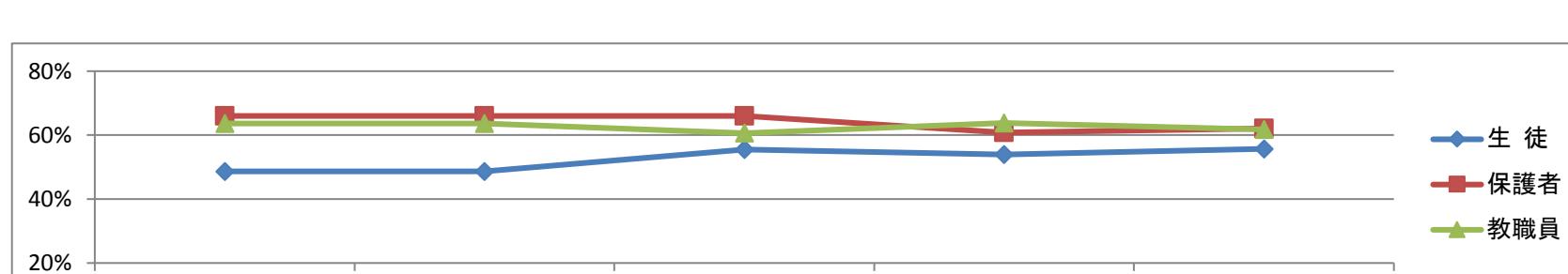
年度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	50.3%	54.3%	51.9%	53.3%	56.3%
保護者	48.0%	47.7%	51.5%	48.0%	43.3%
教職員	45.0%	44.3%	40.3%	47.2%	53.5%



項目3

16 生徒 家の人は学校のことをよく知っている  
17 保護者 学校は、教育情報について、提供の努力をしている  
14 教職員 教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている

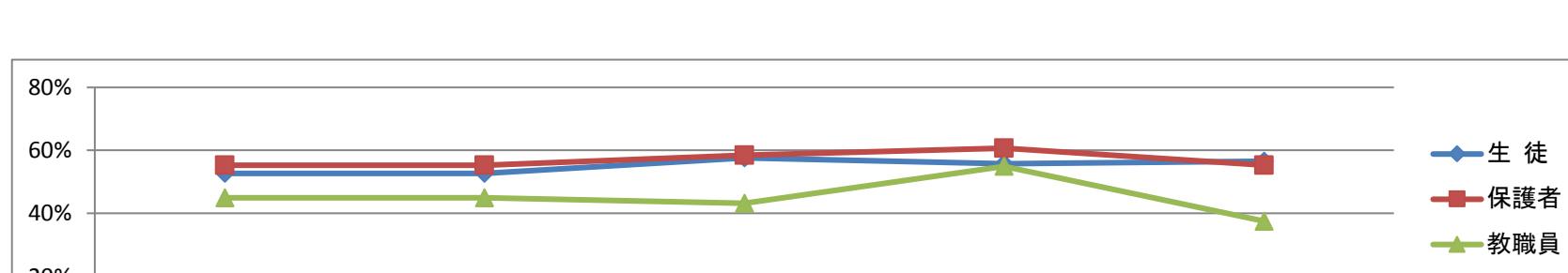
年度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	48.7%	48.7%	55.5%	54.0%	55.7%
保護者	66.0%	66.0%	66.0%	60.8%	62.1%
教職員	63.7%	63.7%	60.6%	63.8%	61.8%



項目4

17 生徒 学校で非常にどんな行動をとればよいかを知っている  
16 保護者 子どもは、学校で非常にどんな行動をとればよいかを、理解している  
15 教職員 学校で非常にどんな行動をとればよいかを、生徒に周知している

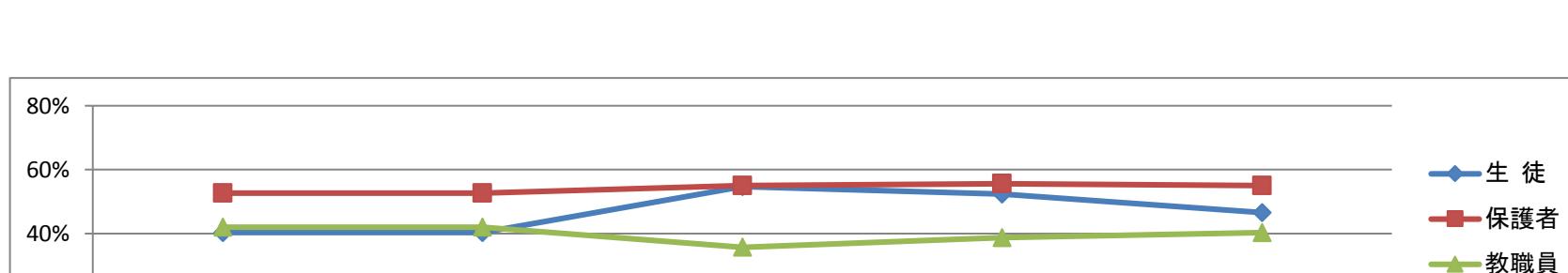
年度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	52.7%	52.7%	57.0%	55.8%	56.6%
保護者	55.3%	55.3%	58.5%	60.7%	55.3%
教職員	45.0%	45.0%	43.2%	54.9%	37.5%



項目5

18 生徒 施設や設備について満足している  
14 保護者 施設や設備について満足している  
16 教職員 生徒は本校の施設や設備について満足している

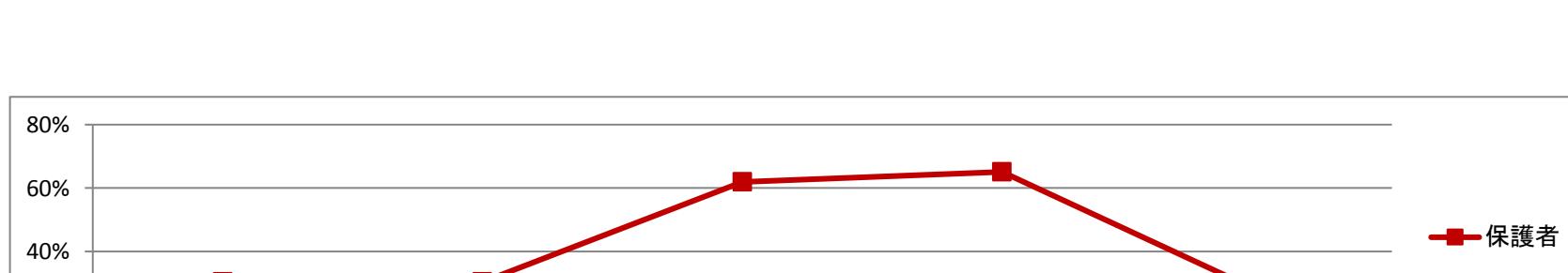
年度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	40.3%	40.3%	54.7%	52.3%	46.6%
保護者	52.7%	52.7%	55.1%	55.6%	55.1%
教職員	42.0%	42.0%	35.7%	38.7%	40.3%



項目6

- 生徒 この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある  
- 保護者  
- 教職員

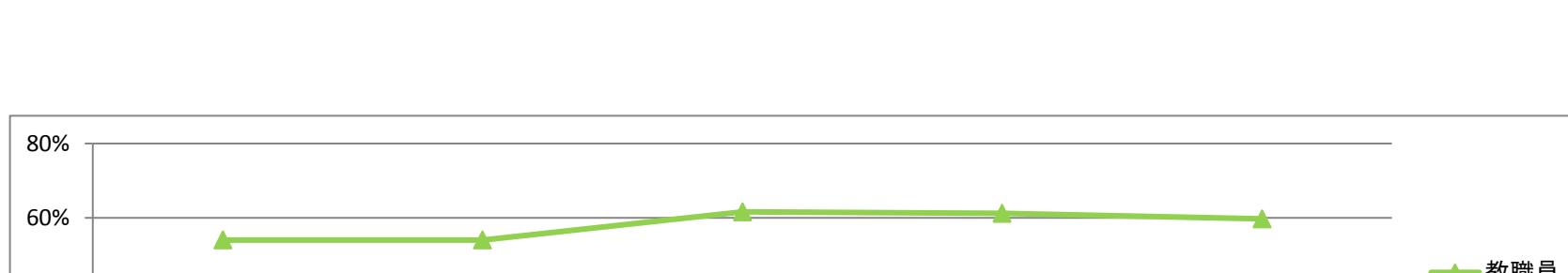
年度	H27	H28	H29	H30	H31
保護者	30.3%	30.3%	62.0%	65.1%	27.1%



項目7

- 生徒  
- 保護者  
19 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている

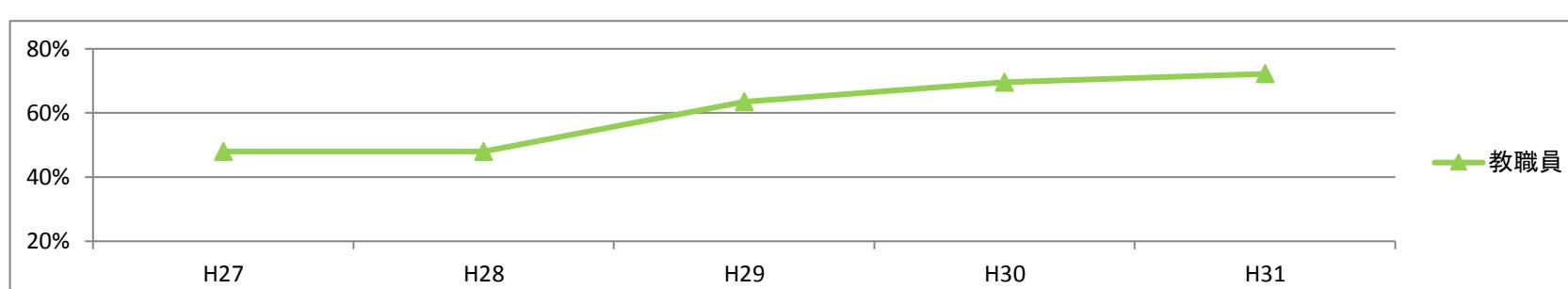
年度	H27	H28	H29	H30	H31
教職員	54.0%	54.0%	61.6%	61.2%	59.7%



## 項目11

- 生徒
- 保護者
- 17 教職員 進路情報の提供が適切に行われている

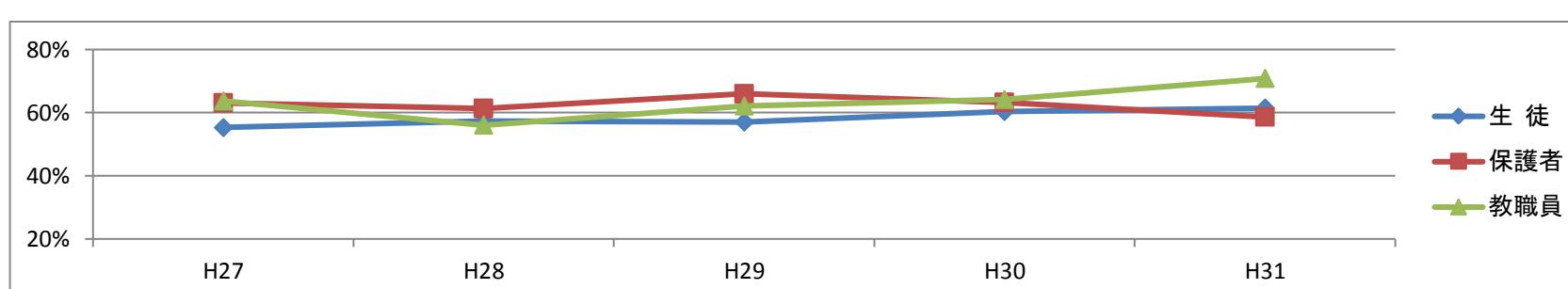
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
教職員	48.0%	48.0%	63.5%	69.6%	72.2%



## 項目12

- 4 生徒 将来の進路や生き方について考える機会がある
- 5 保護者 学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている
- 4 教職員 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている

年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	55.3%	57.3%	57.0%	60.4%	61.4%
保護者	63.0%	61.3%	66.0%	63.3%	58.6%
教職員	63.7%	56.0%	62.1%	64.2%	70.8%



## 項目13

- 生徒
- 保護者
- 18 教職員 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている

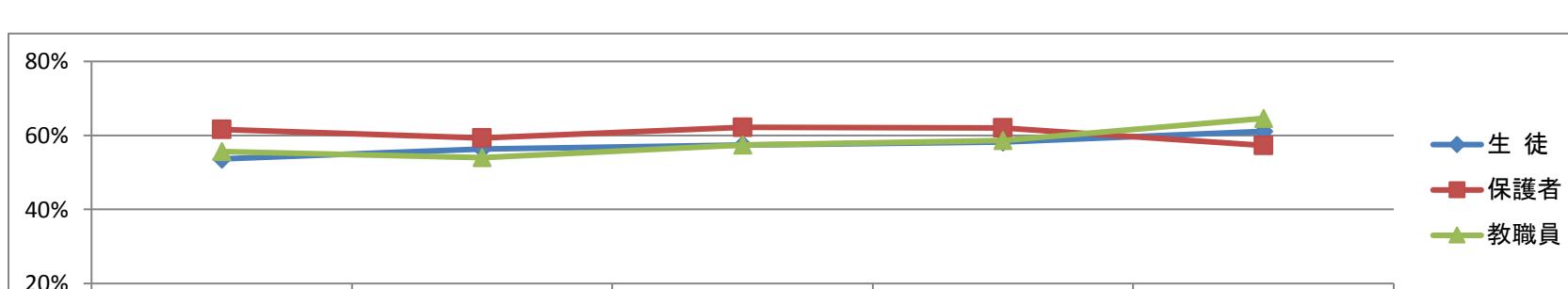
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
教職員	66.7%	66.7%	71.5%	68.1%	66.0%



## 項目14

- 5 生徒 命の大切さや社会のルールについて考える機会がある
- 12 保護者 学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている
- 5 教職員 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくれている

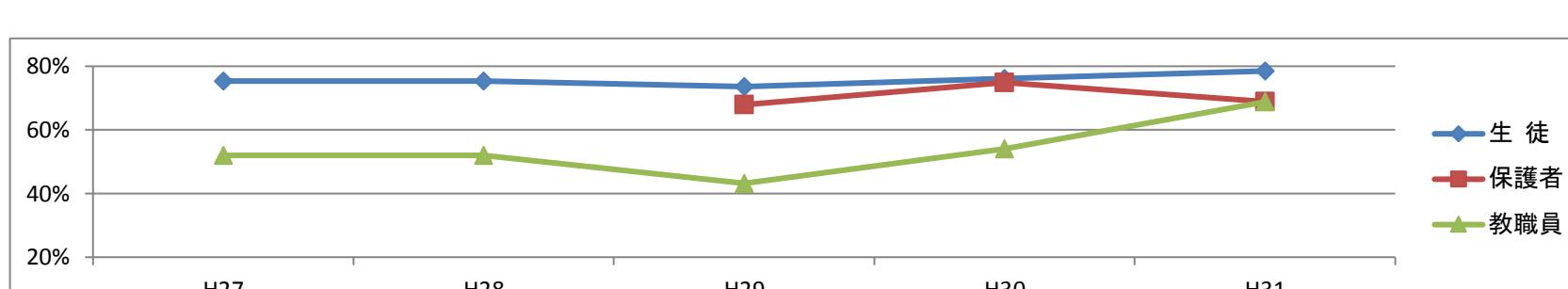
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	53.7%	56.3%	57.4%	58.2%	61.1%
保護者	61.7%	59.3%	62.2%	62.0%	57.3%
教職員	55.7%	54.0%	57.4%	58.7%	64.6%



## 項目15

- 7 生徒 学校の校則を守っている
- 18 保護者 子どもは学校の規則を守っている
- 6 教職員 生徒は本校の規則をよく守っている

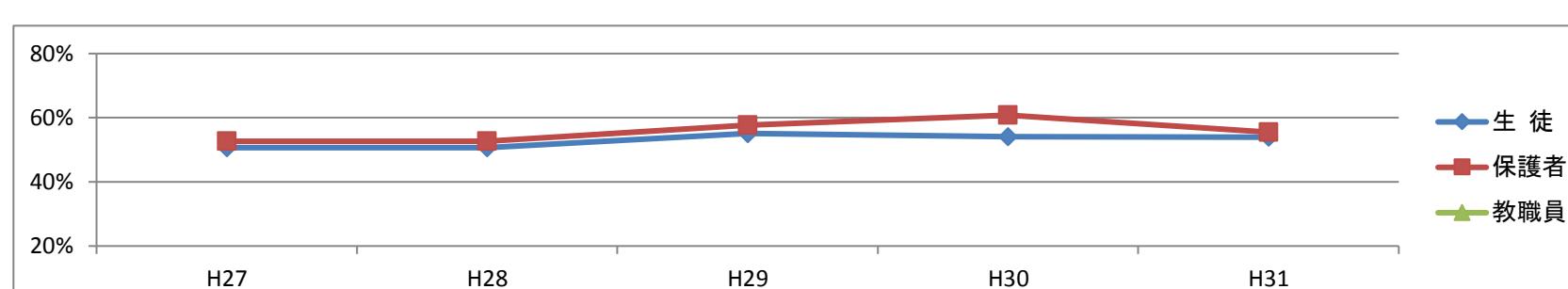
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	75.3%	75.3%	73.6%	76.2%	78.5%
保護者			67.9%	74.9%	68.8%
教職員	52.0%	52.0%	43.2%	54.1%	68.8%



## 項目16

- 8 生徒 学校生活についての先生の指導には納得できる
- 7 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる
- 教職員

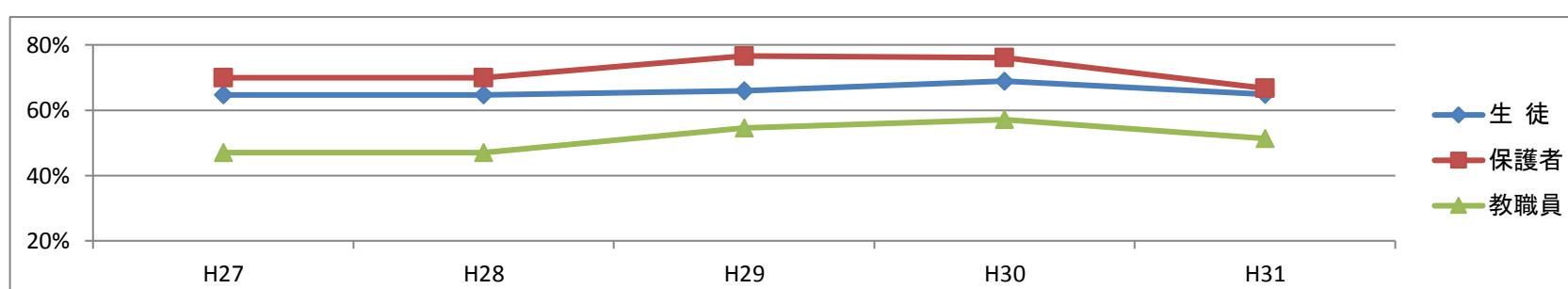
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	50.7%	50.7%	55.1%	54.1%	53.9%
保護者	52.7%	52.7%	57.7%	60.8%	55.5%
教職員					



## 項目17

- 15 生徒 いわゆる「いじめ」は見られない
- 13 保護者 子どもが学校でいじめられているのではないかということを感じることはない
- 13 教職員 生徒の間には「いじめ」は見られない

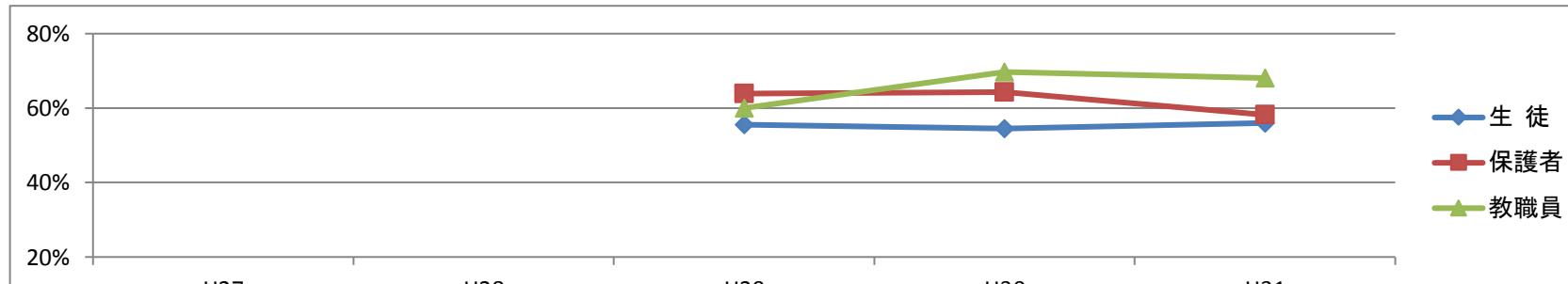
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	64.7%	64.7%	66.0%	68.9%	64.9%
保護者	70.0%	70.0%	76.6%	76.1%	66.7%
教職員	47.0%	47.0%	54.5%	57.1%	51.4%



## 項目18

- 19 生徒 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。
- 19 保護者 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剤に対応してくれる。
- 20 教職員 いじめ(疑いを含む)が起った際の体制が整っており、迅速に対応することができている。

年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒			0.56	54.5%	56.0%
保護者			0.64	64.3%	58.2%
教職員			0.60	69.7%	68.1%



## 項目19

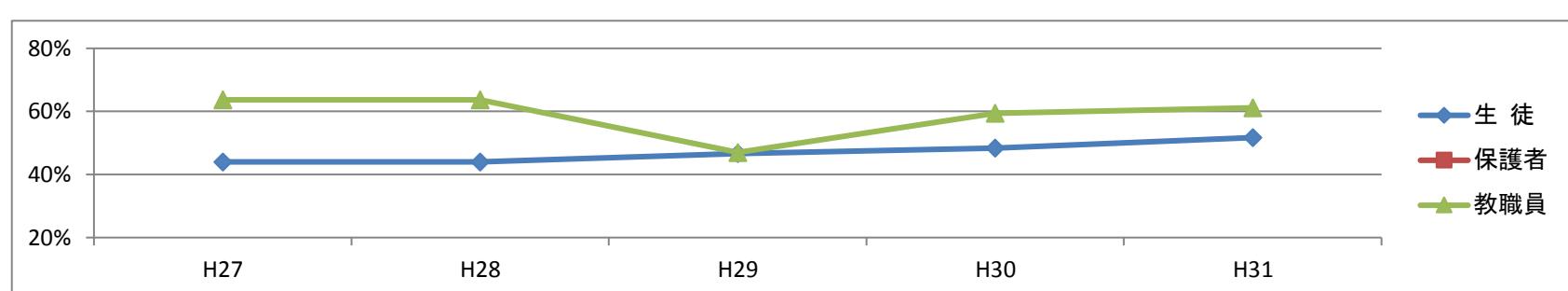
- 9 生徒 文化祭、体育祭等の学校行事は楽しく行えるよう工夫されている
- 9 保護者 文化祭、体育祭等の学校行事は楽しそうである
- 7 教職員 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている

年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	43.3%	43.3%	48.6%	49.4%	50.6%

## 項目22

10 生徒 学校はボランティア活動や体験活動等を通じて地域とかかわる機会がある  
 ー 保護者  
 8 教職員 体験活動やボランティア活動を通じて地域と関わる機会をついている

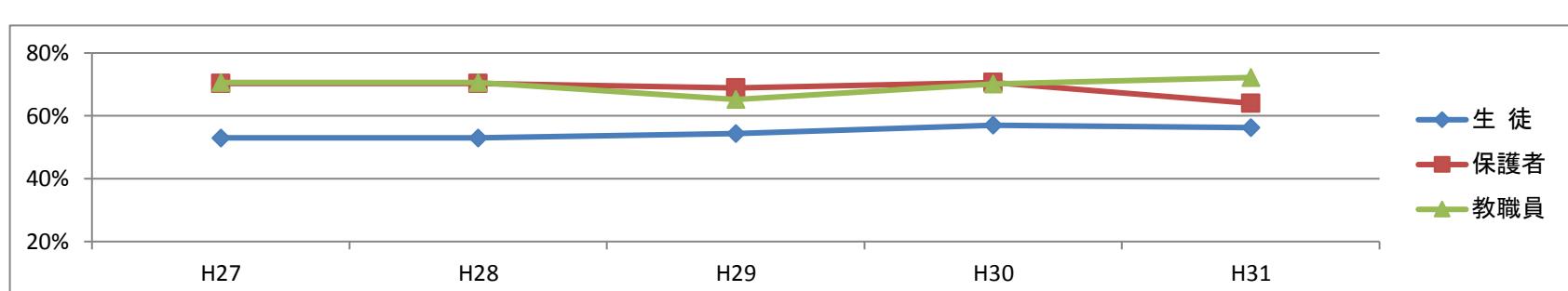
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	44.0%	44.0%	46.6%	48.4%	51.7%
保護者					
教職員	63.7%	63.7%	47.0%	59.4%	61.1%



## 項目23

13 生徒 先生は、悩みや相談に親身になって対応してくれる  
 6 保護者 先生は、悩みや相談に親身になって対応してくれている  
 11 教職員 この学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている

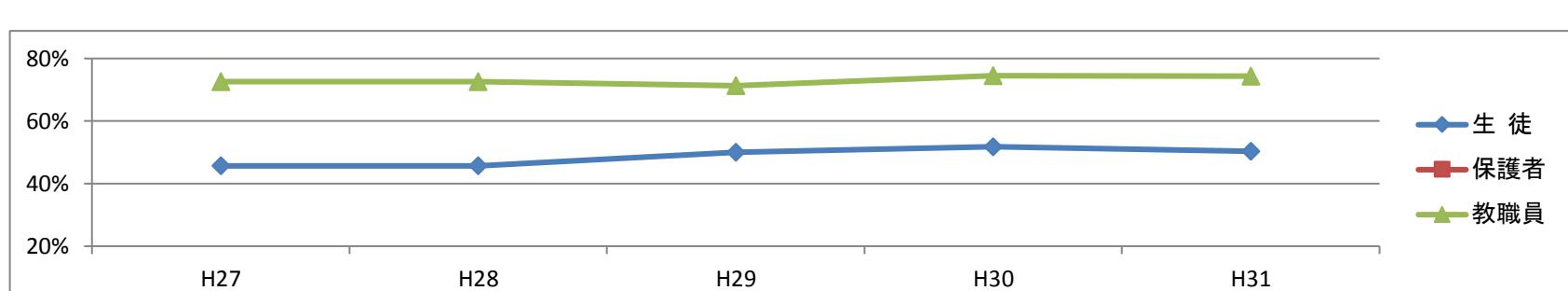
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	53.0%	53.0%	54.4%	57.0%	56.2%
保護者	70.3%	70.3%	68.9%	70.6%	64.0%
教職員	70.7%	70.7%	65.2%	70.1%	72.2%



## 項目24

14 生徒 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる  
 ー 保護者  
 12 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる

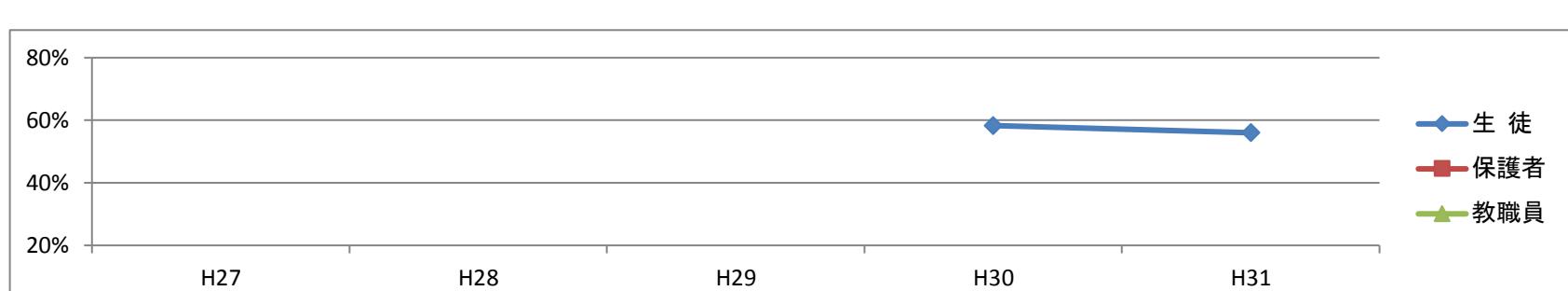
年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒	45.7%	45.7%	50.0%	51.8%	50.4%
保護者					
教職員	72.7%	72.7%	71.3%	74.5%	74.3%



## 項目25

20 生徒 エンパワメントスクールに来てよかったです。  
 ー 保護者  
 ー 教職員

年 度	H27	H28	H29	H30	H31
生徒				58.3%	56.0%
保護者					
教職員					



## 2. 平成31年度 学校教育自己診断 分析及び考察

## 項目1. について

「学校に行くことが楽しいか」について、エンパワメントスクールに改編し、モジュール授業やエンパワメント科目などの特徴的な授業を開講し、また体育祭なども年々変わってきているが、生徒のポイントについて変化があまり見受けられない。もっと魅力的な授業や行事の導入、例えば文化祭の企画段階に生徒を巻き込み、「生徒手作りの文化祭」という実感を育むなども今後の課題と考えられる。

## 項目6. について

「授業参観や学校行事に参加したことがあるか」について、今回はポイントがかなり下がっている。保護者の意見を例年に比べ多く回収できたことで、学校への関心度が明らかになったケースではないだろうか。

## 項目11, 12. について

「進路選択」について、教職員のポイントは年々上昇している。生徒についても5年間で6ポイントの上昇が伺える。2年時にも学年と進路指導部が一体となり指導していくなど進路選択に対してより丁寧な指導が評価されつつある結果と思われる。

## 項目15. について

校則について、生徒・保護者の意識は例年並みである。職員へのアンケートからは生徒への評価が上がってきている。

## 項目20. について

「部活動」についてであるが、クラブ加入率も20%前後と少ない。生徒から新たな部活動の創設などの意見を聴取することも検討したい。